

FUGO REWRITE (VER.1.5.0.0)

取扱説明書

最終更新日：2017/2/5

制作：株式会社 R&C IP WORKS

内容

最初に.....	3
インストール方法.....	4
インストールしようとするエラーが発生する場合.....	4
アンインストール方法.....	4
FUGO.rewrite の機能.....	6
FUGO に追加される機能（FUGO でできるようになること）.....	6
スマート一括置換.....	7
段落ジャンプ.....	8
FUGO rewrite（WORD アドイン）の紹介.....	9
FUGO でチェック.....	9
不具合が発生した場合、連絡先.....	10

最初に

FUGO rewrite は、FUGO と Word を連携させることができるようになる追加オプションの総称です。

FUGO rewrite の利用ライセンスを取得されている場合に、利用できます。

FUGO rewrite の利用ライセンスを取得すると、

- ・**FUGO 自体に機能が追加**されるとともに、
- ・**Word アドイン(FUGO rewrite)の利用が可能**に

なります。

インストール方法

ライセンスを取得済みの場合、自動的に FUGO の機能が追加されます。

※ FUGO ver.3.3.3 以降でのみ利用可能です

Word アドインについては

1. FUGO.rewrite の ZIP ファイルをダウンロード・展開してください
2. FUGO.rewrite フォルダ内の **setup.exe** ファイルを**実行してください(*)**

※ Word アドインがインストールされます

インストールに成功すると、Word の「アドイン」タブに下記のボタンが追加されます。



インストールしようとするエラーが発生する場合

インストール時に『**配置マニフェストに署名するときに使用された証明書が信頼されていないか、アプリケーションが信頼された場所がありません。**』とのエラーが表示される場合、

展開したフォルダ内（サブディレクトリを含む）の **拡張子が .vsto** 及び **.dll.manifest** のファイル 1 つ 1 つに対して、右クリックで開くメニューから「プロパティ」を選択、画面右下の「**ブロックの解除(許可する)**」をチェックして頂くことでインストールが可能となります。

（参考記事：<https://msofficetfsaddin.codeplex.com/wikipage?title=Install>）

アンインストール方法

- ・ コントロールパネルの「プログラムと機能」から削除してください

FUGO.REWRITE の機能

FUGO に追加される機能（FUGO でできるようになること）

符号表を右クリックすると、メニューが表示されます。

このメニューには、WORD ファイル(特許明細書のテキスト)修正に役立つ機能を表示しています。

次ページから、このメニューから実行可能な機能

- ・「一括置換（スマート一括置換）」機能と
- ・「段落番号表示（段落ジャンプ）」機能

について説明します。

The screenshot shows the FUGO Professional interface. On the left, a document editor displays text with highlighted sections. On the right, a '符号表 (日本語明細書)' window is open, listing symbols and their frequencies. A context menu is overlaid on the '支持部材' entry, showing options like '一括置換' and '段落番号表示'.

符号	符号の名称	出現頻度
1	検取ハンドル	
1	ハンドル	
1a	ハンドル基端部	
1b	検取ハンドル部	
2	走行駆体	
3	駆起ロータ	
4	電動モータ	
5	バツリ	
6	接地体	
7	成形体	
8	主フレーム	
9	伝動ケース	
10	ノブ付きナット	
11	支持部材	
12	揺動アーム	
13	回転軸	
14	連結用ピン	
15	支持部材	
16	支持部材	
17	板状部材	
17a	突出部	
18	左右	
19	ピン	
20	ピン挿通孔	
21	ピン挿通孔	
22	移動輪	
23	扶持式格納部	
23a	基端部	
23b	第1当接部	
23c	第2当接部	
24	ボルト	

スマート一括置換

この機能は、特許明細書の符号や符号の名称の誤記を、ミス無く素早く修正するための機能です。

誤記を修正するとともに、修正後の特許明細書を FUGO で再度チェックします。

★この機能は、**符号表タブの上部のリスト(符号表)**で利用可能です。

★この機能では、一括置換する際に**置換される文言を事前に確認(プレビュー)**することができ、必要であれば、特定の文言を一括置換の対象から除外することができます。

※ →**一括置換により誤って置換されることを防げます。**

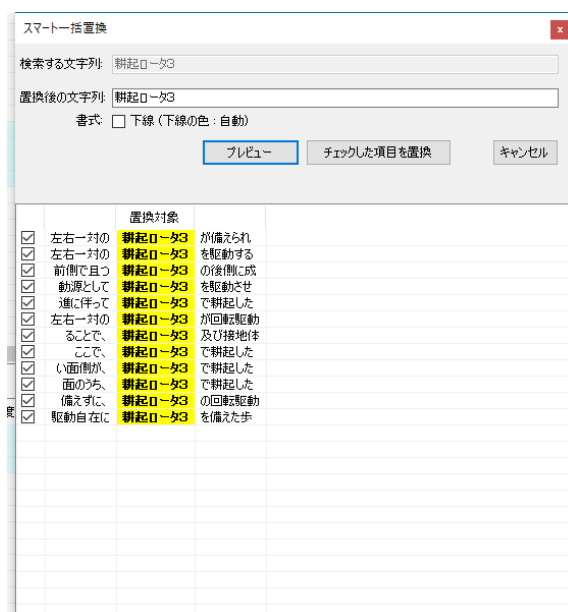
(例：明細書中に「螺子 1」「螺子 1 1」とあって、「螺子 1」を「螺子 2」に置換したい場合。WORD の通常の置換を用いると、「螺子 1 1」の前半部分まで螺子 2 に置換されてしまいますが、スマート一括置換ではあらかじめ「螺子 1 1」を置換対象から省くことができます。)

★書式の『下線』にチェックを入れると、置換した箇所に下線が引かれます。

★さらに、置換実行後、

置換により書き変わった WORD ファイルの内容を FUGO が読み込みチェックし直します。

※ →**修正後の WORD ファイルを FUGO で再読込する手間を省けます。**



段落ジャンプ

★この機能は、**符号表タブ**の上部のリスト、及び**誤字・脱字タブ**内のリストで利用可能です。

メニューから、【段落番号】をクリックすると、

- **WORD** で当該【段落番号】の箇所が表示されます。
- また、メニュー表示の際に選択した「符号の名称 + 符号（下記例では、第 1 支持部材 1 5）」が **ハイライト表示** されます。

※ →WORD 上で修正箇所を探す手間が省けます。

※ なお、ハイライト表示は文章に変更を加えると解除されます。

The screenshot shows the Microsoft Word interface with the FUGO Professional sidebar. The sidebar is in 'DEBUG MODE' and shows a search for '段落番号' (Paragraph Number) with results for '【0023】' through '【0026】'. The 'Symbol Table' (符号表) is also visible, listing various symbols and their names, with '第1支持部材' (Support Part 1) highlighted. The document text includes technical descriptions of parts and their assembly.

【注意点】

符号表と符号抜けでのみ修正すべき箇所が **ハイライト表示** されます。

誤記などと表記ゆれについては段落番号がハイライト表示されるのみです。（この 2 項目については、修正すべき箇所はハイライト表示されません）

Word ファイルを編集すると、ハイライトは消えます。

FUGO REWRITE（WORD アドイン）の紹介

FUGO でチェック

アドインタブに追加された「FUGO でチェック」ボタンをクリックすると、現在 WORD で開いているテキストを FUGO でチェックできます。

FUGO が起動していなければ、自動的に FUGO を起動します。

- ※ **チェックのために FUGO を立ち上げる必要がなくなります。**
- ※ **→クリップボードにコピーする必要がなくなります。**
- ※ **→クリップボードを利用しないため、チェック実行前にクリップボードにコピーされているデータはそのまま維持されます。**



